

令和5年度（2023年度）第4回みなみ野中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日 時	令和5年（2023年）12月2日（土） 9:30～12:00
場 所	みなみ野小学校 2階 家庭科室
出席者	参加者：荒井、大福、大淵、大山、川崎、小井戸、田谷、野牧、恒川（信）、恒川（礼） 北野事務所長：水越 児童館統括担当：永井、関戸 高齢者あんしん相談センター由井：相馬 はちまるサポート由井：千葉 第一層生活コーディネーター：今泉 経営計画課地域づくり担当：伊東、三井、橋本、田中 エックス都市研究所：田中、橋爪、堀岡
配布資料	第4回みなみ野中学校区地域づくり推進会議資料 資料1 プロジェクトPRシート（案）修正版 資料2 地域づくり推進計画書（案） 資料3 地域フォーラムを考えよう 令和5年度（2023年度）第3回みなみ野中学校区地域づくり推進会議議事概要

1 開会

経営計画課地域づくり担当より挨拶。

- ・第3回推進会議を見学した恒川（礼）氏から、推進会議の参加申し出をいただいたことから、恒川（礼）氏が新たに推進会議参加者となった。（市）
- ・第4回推進会議終了後、「地域づくり推進基本方針」改定に向けたアンケートの回答にご協力いただきたい。（市）

2 プロジェクトPRシートのとりまとめ

推進会議資料と、プロジェクトPRシート（「(仮称) みなみ野フェスタ」と「みなみ野を8（∞）倍楽しむ方法づくり」）を基に、全体で最終確認を行った。

（「(仮称) みなみ野フェスタ」についての意見）

- ・散策路を作るという要素は反映されているのか。
 - いくつかコースを設け、イベントごとにテーマを決めてスタンプラリーができると良いと考えている。当初、散策路を巡ることを考えていたが、実際歩いてみると坂が多すぎて歩きにくい。散策路を歩くよりも、イベント的に指定したスポットを回ってもらうという方が楽しいと思った。
- ・「散策」については、まちについて詳しい人に案内してもらったり、虫が好きなお子さんに地域にいる虫の紹介をしてもらいながらめぐるといったことも考えられる。テーマを変えて参加を呼びかければ、お子さんが参加しやすいものも出来るのでは。
 - テーマ性については、イメージの説明の二つ目に記載した「地域をめぐり、みなみ野の資源を知る機会・場になる散策イベント」で読み取っていただくのが良いと思っている。（エックス都市研究所）
 - 「散策」ではなく、「探索」はどうか。
 - 「探検」が良いと思う。
 - 「まちの探検イベント」はどうか。
 - テーマがある方が子育て中のお母さんが参加しやすいということもある。ただ見てもらうのではなく、テーマを設定し、ガイド役の人が案内してくれると、地域の魅力が掘り起こされて良いのではないかと。

- 「探検」となるとワクワク感があり若い人が参加しやすいと思うが、一方でお年寄りには険しい感じがして参加しにくいかもしれない。
- 実際実行するときは、「わくわく探検ツアー」などにして良いと思う。計画段階では、概念的な言葉が良い。
- 「(仮称) みなみ野フェスタ」は、今後趣味嗜好が合う人が集まって具体的な検討を進めてもらうことになる。プロジェクト PR シートの内容はこれまで時間をかけて議論してきた内容なので、今回は要素として足りない部分をご意見いただきたい。実際に実行するときは、プロジェクト PR シートを基に企画書を作成することになると思うので、そのなかでテーマに沿ったキーワードを使用していただきたい。今回プロジェクト PR シートに盛り込む言葉としては、皆さんからいただいた意見を踏まえ、「テーマ性のあるまちの散策や探検」と修正する。(市)
- ・フェスタについては、一年に一度やるイメージでいる。現段階では、メイン会場の候補を駅近くの広場としているが、毎年会場を変えても良いと思う。一度に全部をやろうとすると準備に何年もかかることになってしまうので、一度に全ての内容を実施することは想定していない。

(「みなみ野を8(∞)倍楽しむ方法づくり」についての意見)

- ・行政との対話の機能が入っていないと思う。地域活動の中で、まちづくりに活かせる情報が得られたときに、団体同士のコラボレーションにつなげるために使うことも大事だが、行政との対話に使うことも大事だと思う。地域の中だけで実現させることが難しいことも行政と連携することで実現することもあると思うので、「行政との対話」を箇中に追加してほしい。
- 「対話」という言葉は、向き合うという意味になってしまう。「共創」や「協働」という言葉であれば一緒に取り組むという意味合いがわかって良いのでは。新しい行政と地域のスタイルを作っていくという意味を込めたい。馴染みのない言葉をあえて使ってみても良いと思う。

3 推進計画書について

資料2の推進計画を基に、全体で内容の確認を行った。

(市からの説明内容)

- ・会議資料5ページ目に事前ワークでいただいた意見をまとめている。資料2は、この内容を反映させている。
- ・その他、QRコードだけではパソコンを利用する方が不便というご意見をいただいたので、奥付に関連URLを追加する予定である。

(検討内容)

- ・目次で、「推進計画とは」「推進会議とは」「推進計画ができるまで」とあるが、はじめて見る人にわかりやすいよう「地域づくり推進計画」など、正式名称で記載したほうが良い。また、これに伴い関連するページタイトルの修正もお願いしたい。
- ・1ページ目の写真はどこか。
→みなみ野らしい写真ということで大学の寮の写真を選んだ。(市)
→駅前の交差点がみなみ野らしいと思う。交番があって安心感もあり、商業施設がある様子もわかる。
- ・2ページ2行目「地域にお住まいの方々を中心に集まり議論・検討」とあるが、何を議論したのかがわからない。「まちの将来について」といった目的となる言葉を追加すべき。
- ・2ページ5行目「どうあるべきか」はきつい表現だと感じるので、「どうありたいか」という表現に修正を。
- ・3ページ1行目「社会環境の変化に対応していくため」と記載があるが、変化に必ず対応する必要はないと思うので、「しなやかに対応していくため」といった表現のほうが良い。
- ・3ページの※の「「地域防災」「公共施設マネジメント」の視点を踏まえて」は、「視点も踏まえて」という表現の方が正確だと思う。
- ・3ページの参加者の肩書について、田谷氏の「みなみ野中学校保護者」と、斉藤さんの「地域住民」を「ど

- その会推進委員」にしてほしい。
- 大福氏の肩書の「八王子共生社会推進会議」の前に「NPO 法人」を追記してほしい。
- 肩書について変更や修正がある場合は、事務局にお申し出いただきたい。(市)
- ・7 ページの左上にある整備された道路の写真は、七国しか映っていない。みなみ野側から撮っていると思うので、みなみ野が映るような写真に変更した方が良い。
 - 裏表紙のみなみ野大橋の写真についても、みなみ野から出て行く方向で写真を撮っているため、みなみ野に向かう写真に変更してほしい。
- ・7 ページの「魅力」に、「駅前は無電柱化が進んでおり、空がひらけている」という内容を追加した方が良いというご意見をいただいた。魅力の一つとして追加した方が良いか。(市)
 - 実際は電柱があるエリアが多い。
 - “メインの通りには電柱がない” くらいの表現にしないといけないと思う。
 - 列記するとみなみ野の魅力というよりもニュータウンの魅力のようになってしまう。(エックス都市研究所)
 - 都市基盤という言葉の説明として、※の中に「無電柱化」という言葉を追加する。(市)
- ・7 ページの魅力に「参加しやすい町会がある」と記載がある一方で、8 ページの課題にも「参加しやすい町会」の記載があり、反対のことを言っているように捉えられてしまう。整合性を持たせる必要がある。
 - 7・8 ページの整合性を踏まえ、7 ページの「参加しやすい町会がある」を「ゆるやかなコミュニティ」に変更する。(市)
- ・7 ページの「学校と住民とのつながりが強い」については、表現が強いのではないか。
 - 「学校と住民のつながりがゆるやか」が良いのではないか。実際にゆるやかなつながりを目指している。
 - 学校によって地域との関わり方について方針の違いもあるかと思うので、丁寧な分析が必要。
 - つながりの強弱を表現するのは難いため、「学校と住民の連携」という表現にする。(市)
- ・8 ページの見出し「コミュニティの醸成」という表現について、みなみ野中学校区のコミュニティは強い地縁に根付いたものではなく、ゆるやかなコミュニティだと思うので、「ゆるやかなコミュニティの醸成」に変更したほうが良いのではないか。
- ・8 ページ「希薄化が危惧される」という表現について、強い言い方なので「危惧される」を「想定される」に変更した方が良い。
- ・8 ページの「子どもも高齢者も誰もが」について、八王子市は障害者福祉を他の自治体よりも積極的に取り組んでいると思う。「障害のある人も」という言葉を追加すると良いのではないか。
 - 「障害」と入れると、障害のある人限定のように感じるため、「ハンディのある人」が良いと思う。
 - 「子どもも高齢者もハンディキャップがある人なども」と修正する。(市)
- ・8 ページの「課題」のなかに「坂道が多く」と記載しているが、対応のしようがないのではないか。
 - 課題については、解決策が示されている必要はない。現段階ではプロジェクトは2つしかないが、今後課題に対して別のプロジェクトも出てくるかもしれない。(市)
 - 坂道については、推進会議で出た意見というよりも、ワークショップで多く出た意見である。家から出ない人をどう呼び込むかについてはイベントを実施することなどで対応できると思う。(エックス都市研究所)
 - 課題に挙げておくだけで良い。坂道は大変なので、その都度議論していくことで良いと思う。
 - 坂道が大変なのは高齢者だけではなく、子どもがいる人も同様なので「高齢者が」を削除した方が良い。
- ・冊子を作成するにあたり、ページ数を4の倍数にする必要があり、後ろ扉が1枚白紙になっている。URLなどを記載する案が出ているが、メモ欄として使うことも考えられる。何かご意見はあるか。(エックス都市研究所)
 - 事務局にお任せしたい。
 - みなみ野中学校エリアの場所がぱっとみてわかりにくいので、地図を載せると良い。
 - 推進会議の様子がわかる写真が一枚も入っていないので、推進会議中の写真を載せると良いと思う。

- ・印刷のタイプについては、前回皆さんからご意見をいただき、A4 横の中綴じ（天綴じ）で行う。（市）

4 フォーラムについて

令和6年（2025年）1月14日（日）に「地域フォーラム」の開催を予定しており、資料3を基にフォーラムのプログラム内容や呼び込み方について検討した。

（検討内容）

- ・事前に、開催の様子を同時配信してはどうかという話があったが、事務局では対応しかねる。推進会議メンバーで配信ができるか。（エックス都市研究所）
 - オンラインというよりもその場に来てもらったほうが嬉しい。
 - ハンディカムを回し Zoom の Webinar でフォーラムの様子を流せばよいのではないかと。
 - 音を拾うのが難しい。
 - 意見交換のテーブルが複数あるので、スイッチングなどをして配信する必要があり、その場合専門の人にお願いすることになる。今回は、仲間づくりもねらいとしてあるので、実際に来ていただく方法で行いたい。（エックス都市研究所）
- ・意見を出しやすいように、5分程度で簡単なアイスブレイクをすると良い。
- ・開催場所は、みなみ野中学校区内の施設が良い。
 - 中学校区内の学校の体育館には暖房がなく、由井市民センターみなみ野分館には駐車場がないという問題がある。（市）
 - 由井市民センターみなみ野分館に、63人収容できる部屋があるのでそこが良いと思う。
 - 片柳学園の食堂も使えると思う。
 - 開催場所については市で調整して、後日お知らせする。（市）
- ・チラシはできるだけはやく欲しい。年末年始に届く文書は読まれにくい。
 - チラシは500部印刷し、12月8日（金）には推進会議メンバーの手元にチラシが届くように手配する。チラシはPDFも共有するので所属団体のSNSなどで広報していただきたい。（市）

（当日の役割）

- ・司会は荒井氏が行う。
- ・プログラム「②地域づくり推進の趣旨」は市から説明する。「③推進計画の紹介」は野牧氏が説明する。
- ・プロジェクトPRシートの紹介は、「(仮) みなみ野フェスタ」を小井戸氏、「みなみ野を8（∞）倍楽しむ方法づくり」を野牧氏が行う。
- ・「(仮) みなみ野フェスタ」の意見交換を行うテーブルは小井戸氏、「みなみ野を8（∞）倍楽しむ方法づくり」の意見交換を行うテーブルは野牧氏がファシリテーターを行う。テーブルの数によって、後日事務局から他の人にファシリテーターを依頼する。
- ・各テーブルの板書係は、ファシリテーター以外の推進会議メンバーが行う。

5 情報交換「みんなにシェア・みんなでシェア」

- ・12月10日（日）10時から14時まで、のま小児科で「みなみ野マルシェ」を開催する。ママさん向けのマッサージや、Hippo ファミリークラブによる多文化共生のブース、みなみ野キッズシンガーズによるコンサートなどを行う。（小井戸氏）
- ・子どもに関連するもののお譲り会、無料版のフリーマーケットを行う「どーぞの会」を立ち上げた。出品しなくても良いので、開催時はぜひ見に来ていただきたい。（大淵氏）
- ・地域づくり推進基本方針の改定にあたり、10月27日に第2回懇談会を開催した。新しい方針では地域づくりの必要性や推進会議の在り方を盛り込んでいきたい旨を共有した。座長である都立大学の先生からは、地域づくりには「支える・つなぐ・掘り起こす」の3つの要素が重要であるというお話があり、この3つを柱に対して現時点できているところ、不足しているところなどの検証を行っている。みなみ野中学校区からは野牧氏にお願いし、懇談会に参加いただいている。（市）

→懇談会には、4つの推進会議から各1名が参加している。川口地区と長房地区は、町会加入率が7割以上という地縁が強い地域である。みなみ野と南大沢はニュータウンでマンションも多く、ゆるやかなコミュニティである。各推進会議の代表者が地域や推進会議の状況を話し全体で共有した。みなみ野地区は、地縁に縛られない地域性に魅力を感じて住んでいる方も多いため、ゆるさも守っていききたいということを伝えた。(野牧氏)

6 閉会

今回の第5回推進会議の日程と地域フォーラムの集合時間などの確認を行った。

- ・地域フォーラムは、令和6年(2024年)1月14日(日)10時～正午に開催する。推進会議メンバーは当日の準備・調整などがあるため、9時に集合いただきたい。皆さんからの意見を踏まえて、後日会場の調整をするので、会場は決まり次第市からお知らせする。
- ・第5回推進会議は、令和6年(2024年)3月9日(土)に開催予定である。

7 その他

- ・推進会議終了後、市から推進会議参加者に「地域づくり推進基本方針」改定に向けた推進会議参加者アンケートを配布し、内容を説明した後、各自回答・提出した。

以 上

タイトル

(仮称) みなみ野フェスタ

テーマ性のある散策

ねらい

- 地域の資源を知ってもらう。
- 子どもからお年寄りまで、多世代が集まる交流の場をつくる。

「や」でつなぎ、両方

まちの探検

→テーマを決める

顔となるイベントは欲しい

- ・ 駅近くの広場などを使った、にぎわいイベントを開催。
- ・ これをメイン会場に、地域をめぐり、みなみ野の資源を知る機会・場になる**散策イベント**を開催。
- ・ お店や企業、いろいろなまちづくり団体、住民の方々の参加してもらって開催。
- ▶ まずは、1つでも2つでも、できそうなイベントからチャレンジ。
- ・ 地域ぐるみの継続的な実施を目指す。

わくわく感

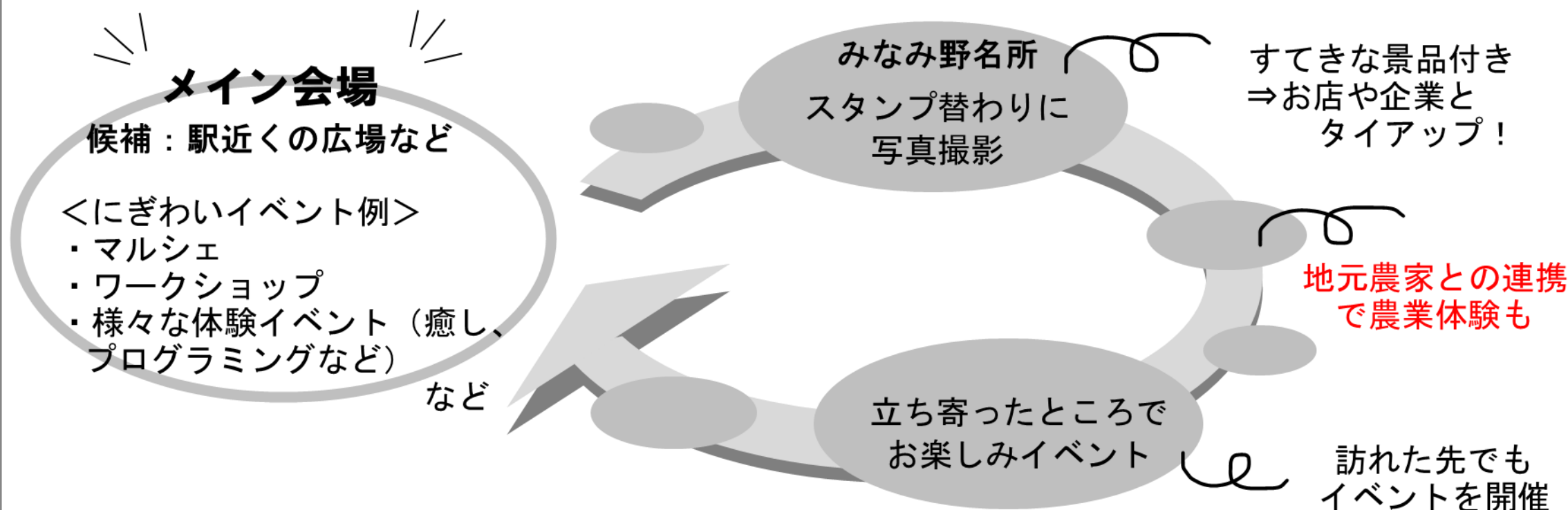
→若い人が参加しやすい

年代別も○

小さなイベントから続けていく

～マルシェ（メインイベント）に、スタンプラリーをあわせて実施した場合の例～

イメージ



PR

- 一緒にイベントづくりをチャレンジしましょう。
- まちづくり団体をはじめ、地域のお店や企業の方々は、ぜひ協力をお願いします。

プロジェクトPRシート (案)

タイトル

みなみ野を8 (∞) 倍楽しむ方法づくり

ねらい

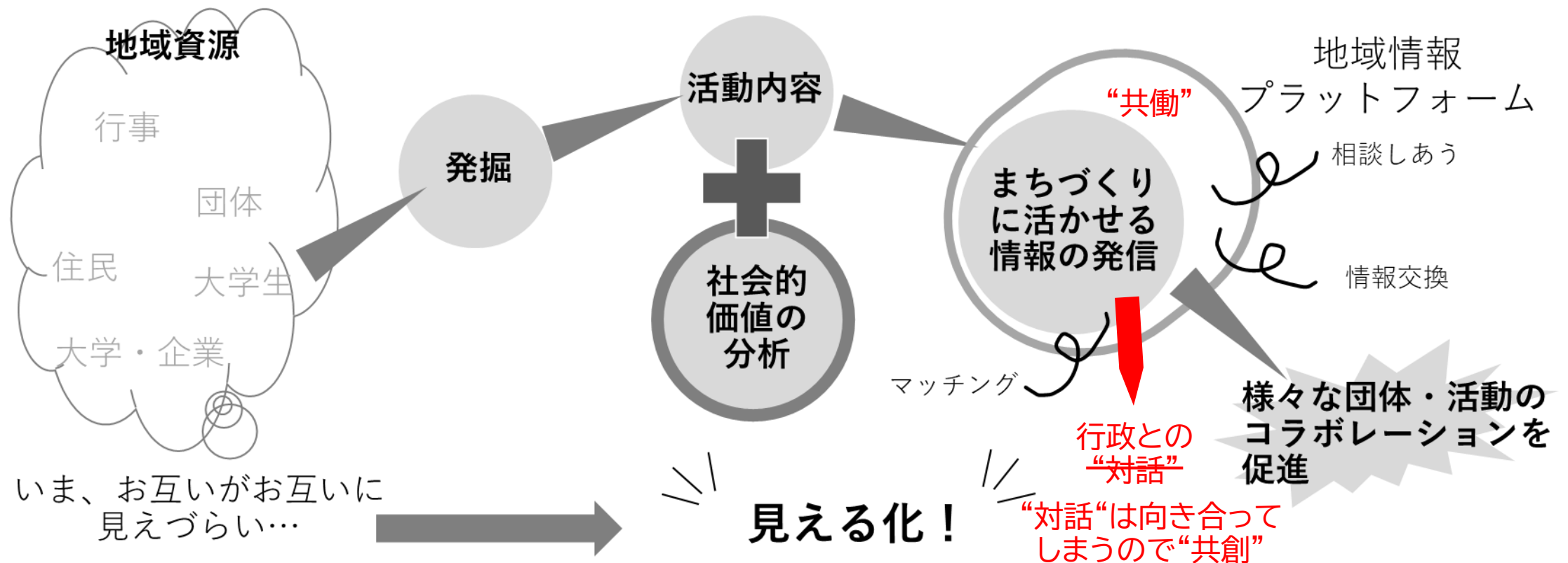
- 既存の行事・活動、人財など、みなみ野の持つ価値の見える化と共有。
- これらの資源のコラボレーションを促進し、さらなる地域の魅力創出につなげる。

行政との対話

- ・地域内・外のすでにある行事や活動団体・人財を発掘。
- ・活動内容や活動から生み出される社会的な価値を分析、見える化して、情報発信。
- ・様々な団体・人財がつながるイベントづくり、活動と人財のマッチングなど、具体のまちづくりの場面で活かせる情報。
- ・地域情報が、活動・人財のさまざまなコラボレーションを生み出し、みなみ野の未来は末広がり、魅力はもう無限大。

～地域資源発掘から情報発信までのイメージ～

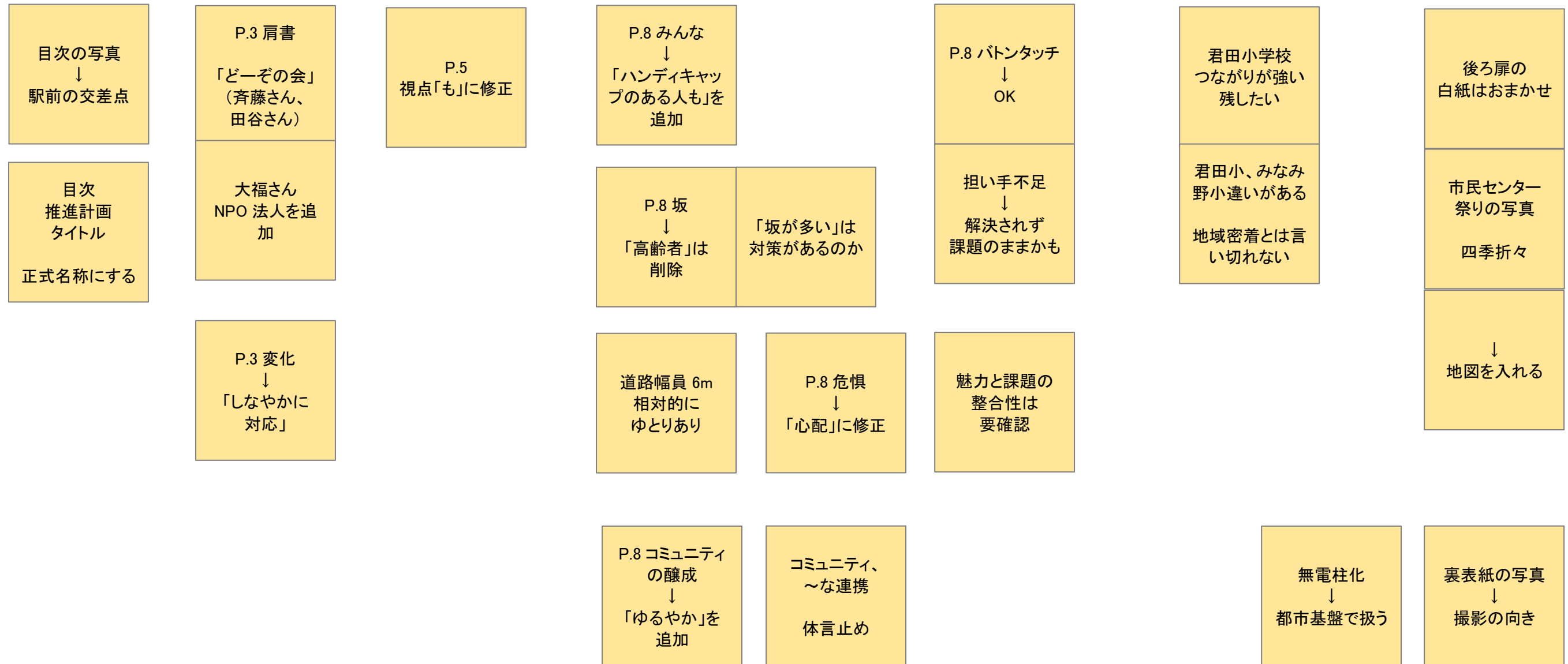
イメージ



PR

- 地域カルテに登場する行事・団体・人財などがつながって、みんなで、風を生み出そう。

推進計画書に関する検討内容のメモ



○日時・場所：令和6年（2024年）1月14日（日）午前中 由井市民センター 体育室（10時～12時）

ねらい

- 推進計画のお披露目
- プロジェクトのPRの紹介、今後の活動の仲間づくりのきっかけ

フォーラムの進め方

プログラム（案）	役割分担（案）
①開会・あいさつ 説明：5分	○司会（全体進行）：推進会議参加者 →荒井さん ○あいさつ：市
②地域づくり推進の趣旨 説明：15分	○説明者：市
③推進計画の紹介 説明：15分 →野牧さん	※推進会議参加者で③は説明しますか？
④プロジェクトPRシートの紹介 説明：10分 2プロジェクト各5分	○説明者：推進会議参加者 「（仮称）みなみ野フェスタ」、 「みなみ野を8（∞）倍楽しむ方法づくり」 の各チームで1名 →小井戸さん →野牧さん
⑤各プロジェクトに対する意見交換 仲間づくりタイム ⑤-1 意見交換の進め方の説明 時間3分	○説明者：全体進行か、③の説明者
⑤-2 話し合い 最大6テーブル（40名程度） 時間：40分（20分経過した後、席替え） ～興味があるプロジェクトのグループに入ってもらおう～ ○具体的な活動に向けて ・活動内容のアイデア ・協力してもらえる人財、組織団体 ・協力できそうなこと など ※プロジェクトPRシートへ付箋で意見の書き込み ※結果を求める話し合いではなく、仲間づくりに向けて、 今後の活動への思いを参加者同士が分かち合うことが 大きな趣旨です。	○ファシリテーター（各テーブル）：推進会議参加者 小井戸さん野牧さんは決定 ○板書係：推進会議参加者
⑤-3 シェア 時間：20分 1テーブル当たり3分程度	○発表：各テーブルファシリテーター ※全体進行は司会
⑥情報交換 計10分 ○参加者からの情報提供 （簡単な所属組織の紹介も考えられます） ※関心のある団体・個人に参加してもらって、活動についてご紹介いただくことが考えられます。	○進行：司会
⑦閉会・あいさつ 説明：5分	○あいさつ：市から
その他 ○参加者アンケート ⇒フォーラムを知った経緯、参加動機、推進計画への期待、プロジェクト参加への意欲 など	○事務局で準備、配布、回収

開催場所：
みなみ野中学校区内が
良い
→片柳学園の食堂？

推進会議メンバー
集合 9時

アイスブレイクを追加

オンライン（Zoom Webinar）
で同時配信はできるか？
→收音が大変
→プログラムが変わってしまう
ので今回は現地のみ

ワークショップの
アンケートをベースにする

配布方法
紙+PDF

回覧板は全戸にまわるまで
2週間程度かかる

Facebook
”八王子コミュニティ“に
リンクを貼ってもらう

声かけ（6月のワークショップの実績） 「広報はちおうじ」、市SNSでの情報発信以外

対象（候補）	方法	役割分担
○小、中学校	○学校を通した呼びかけ ○保護者を通した呼びかけ	○市からの情報提供 ○各メンバーのネットワーク活用
○高校生、大学生	○知り合いを通じた呼びかけ	○各メンバーのネットワーク活用
○地域の住民の方 大人、高齢者、外国人	○町会を通した呼びかけ ○既存サークルへの呼びかけ	○各メンバーの所属組織への周知 ⇒回覧板の活用 ○各自、可能なことをする